

令和4年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

「議案第34号 令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）」の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業、子育て世帯へのおこめ券支給事業、学校給食物価高騰対策事業などの補正増であり、歳入歳出それぞれ、6億4,693万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ339億5,331万4千円とするものです。

委員会では、子育て世帯への支援事業が多いが、どのような考えでこれらの事業を選んだのか、との質疑があり、執行部からは、今回、国の総合緊急対策では、物価高騰対策として、地方公共団体には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って、子育て世帯支援・中小企業者支援などが求められているためである、との答弁がありました。

また、一委員から、児童・生徒への図書カード支給事業について、支給時期は、との質疑があり、執行部からは、物価高騰対策に加えて、家庭学習を促進するためでもあるので、夏休み前までには支給したいと考えている、との答弁がありました。

また、一委員から、学校給食物価高騰対策事業について、物価高騰により本市の給食にどのような影響が出ているのか、との質疑があり、執行部からは、現時点では、食材費は前年度比で約6%高騰

している状況であるが、今後さらに上昇すると見込まれている、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和4年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

「議案第35号 令和4年度筑紫野市一般会計補正予算（第3号）」の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、児童福祉施設整備事業や防災事務事業、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給事業などの補正増であり、歳入歳出それぞれ、1億5,854万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ341億1,185万8千円とするものです。

委員会では、高齢者運転免許証自主返納等支援事業について、対象人数の根拠は、との質疑があり、執行部からは、ここ3年間の免許証返納数が平均355人であり、今年8月から事業を開始したいと考えているため、8か月分の約250人と想定している、との答弁がありました。

また、同事業に関し、一委員から、県の補助金が62万5千円だが、補助率と一致していない理由は、との質疑があり、執行部からは、補助率は2分の1であるが、補助限度額が対象者1人につき2,500円と定められているためである、との答弁がありました。

また、一委員から、公立保育所等の会計年度任用職員の給与見直しについて、どれほど上昇するのか、また、対象者数は、との質疑があり、執行部からは、職種によるが、月額3,710円から5,830円の引き上げとなり、対象者は約120人である、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。